

タイトル

ソーシャルキャピタルから紐解く
持続可能な地域社会
～幸せな地域社会をつくるためには～

指導教員： 野坂美穂 専任講師 後藤晶 専任講師
木村知義 客員教授

大学院生：高村直 葛生善江

学部生：村松繁 竹之内剛 中島大地 柳沢祐介

もくじ

1. 研究背景・目的
2. ソーシャルキャピタルとは
3. 移住・移動とソーシャルキャピタル
4. 移住支援による人口増加
5. 幸せな地域社会をつくるためには
6. 参考文献

もくじ

1. 研究背景・目的

1. 研究背景・目的

キーワード

①関係人口

- 定住人口と交流人口の中間の存在。(田中2017)
- 離れた場所からでも地域の活性化に貢献できる新しい概念。(例)ふるさと納税、特産品の購入、定期的な訪問など。

②ソーシャルキャピタル

- 社会に良い影響を与える、人々の関係性。
- ソーシャルキャピタルがある地域は豊かになると言われている(稲葉・吉野2016)
(例)信頼関係・協力関係・ネットワーク、など

1. 研究背景・目的

問題意識

関係人口が増える＝ソーシャルキャピタルが生ませる

幸せな地域社会をつくるための方策とは？

都心生活者



【地域との関係】
グラデーション

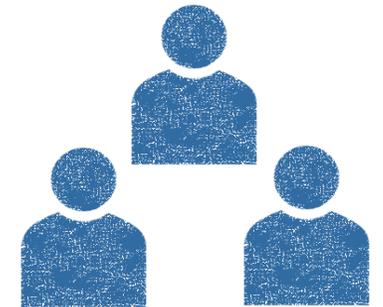
地域に関
わる。

地域の特
産を買う。

地域に通う。

地域に移
住する。

地域



もくじ

2. ソーシャルキャピタルとは

2. ソーシャルキャピタルとは

長いスプーンのお話



2. ソーシャルキャピタルとは

ソーシャルキャピタルの概念

長いスプーンの話

- 長いスプーンを使って**お互い**に食べさせ合うと、**満腹**になる。
- 長いスプーンを**自分のため**に使うと、**飢餓**になってしまう。



【ソーシャルキャピタルとは】

『社会全体の結果に影響を与える人々の関係性』

2. ソーシャルキャピタルとは

重要なソーシャルキャピタル

開放的なネットワーク

地域コミュニティの中に、**日常的に共有されたネットワーク**があること
(東日本大震災)

災害時などの際、**避難活動が上手く機能する**可能性がある。

相互補助による助け合い

経済的に需要のある場所に高値で売る。
被災地の消費者物価指数を全国平均を下回った。(東日本大震災)

経済的な合理性を超えた、**人々の協力関係**がある。

もくじ

3. 移住・移動と ソーシャルキャピタル

3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

移住者のパターン

①Uターン者

- 地元からほかの地域へ移動した後、再度地元に戻る人のこと。



②Iターン者

- 地元からほかの地域へ移住した後、その地域に定住する人のこと。



3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

移住者の行動要因

①Uターン者

- 内的な要因・・・**地元**に**魅力**を感じたか
(例)「地元にいる友人達が羨ましい」
- 外的な要因・・・**生活環境**が**変化した**から。
(例)「家族を介護しないといけない」



②Iターン者

- 内的な要因・・・**地域**に**魅力**を感じたから。
(例)「地元より仕事・生活がしやすい」
- 外的な要因・・・**地域**から**移動できない**から。
(例)「家のローンがあるから引っ越せない」



3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

要因① 住居による差

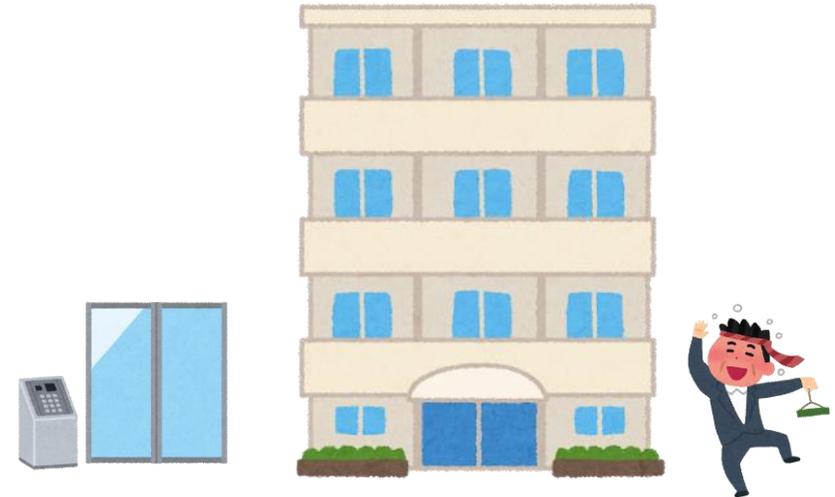
一戸建て

地域の人々に関わる機会が多い。



マンション

地域の人々に関わり機会が少ない。
(オートロック式)



3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

要因② 最終学歴による差



素朴要素仮説

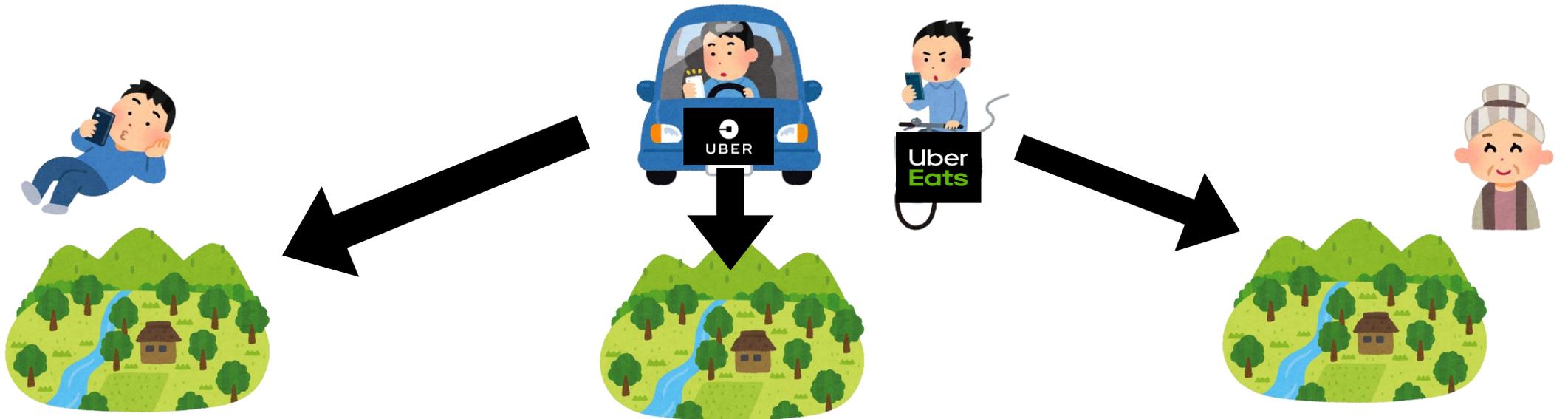
- 高卒と大卒では**知り合う人の人数**が違う。高学歴ほど学校での**出会いの機会**が多く、友人関係の構築に有利になる可能性がある。

3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

働き方と幸福感の捉え方

ITによる改革

- シェアサービスにより、**地域交通の空白地帯**を埋める。
- 地方にいながら**新しい職業**が生まれるのではないか。



3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

働き方と幸福感の捉え方

お金の価値観

- 田舎だからと言って、生活のためのお金がやすくなるわけではない。
(例)車の費用・ガス料金・交通費・受信料など。



3. 移住・移動とソーシャルキャピタル

働き方と幸福感の捉え方

ダウンシフト

- ❑ 地方で幸せを感じるための方策の一つが、**ダウンシフト**です。
- ❑ **生活のペース**を下げて、**自由な生活**をすること。



都市圏



ダウンシフト



地方(田舎)



4. 移住支援による人口増加

4. 移住支援による人口増加

移住支援の一例



認定NPO法人

ふるさと回帰支援センター

- 移住希望者へのサポートをする認定NPO法人。
- 移住促進をしている地方自治体へのノウハウ提供。



4. 移住支援による人口増加

センターの機能

都心生活者

「農村漁村と交流したい」
「スローライフを送りたい」
「地方で暮らしたい」



ふるさと回帰支援センター

役割機能

- ① 移住相談員による個別相談
- ② 就労支援・サポート
- ③ 地域暮らしのセミナーの開催
- ④ ふるさと回帰フェアの開催
- ⑤ 情報誌「100万人のふるさと」の発行
- ⑥ 自治体向けのノウハウ提供

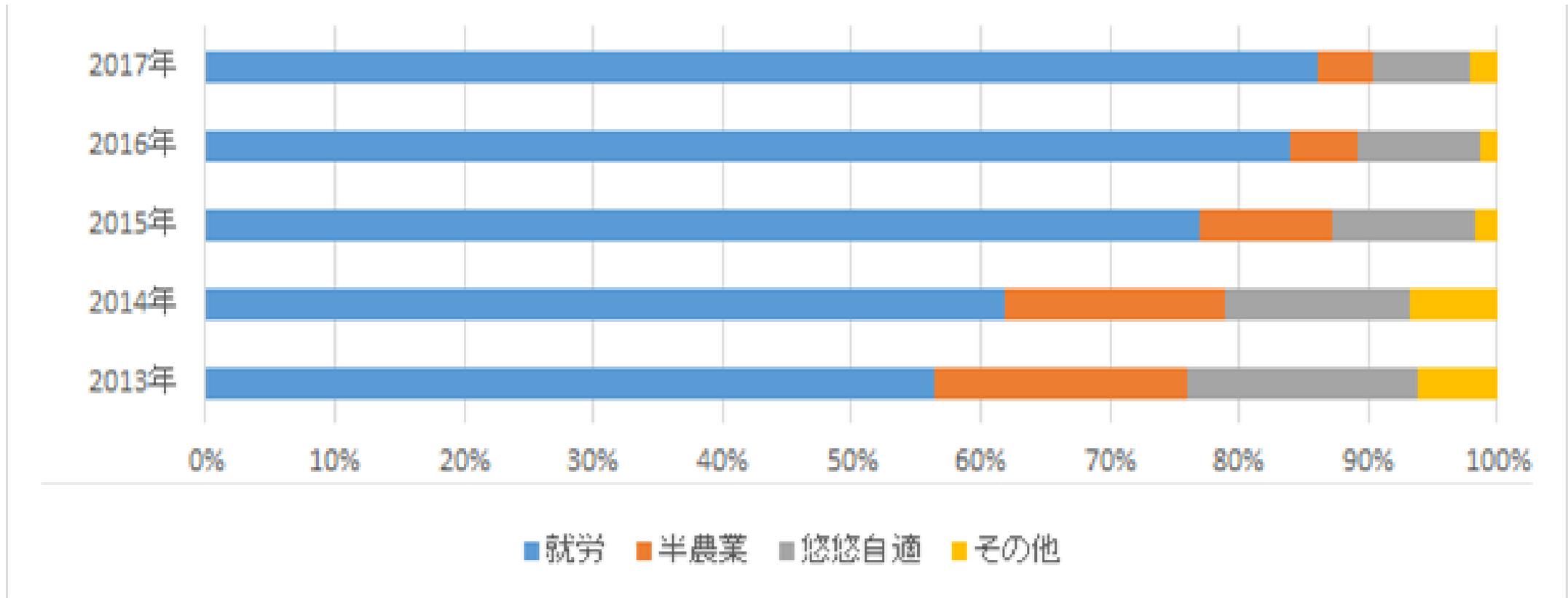
地方自治体

「定住者を増やしたい」
「体験交流をしたい」
「雇用を創りたい」



4. 移住支援による人口増加

移住希望者のニーズ



出典:ふるさと回帰支援センターの現状について(2018年6月)を参考に筆者が作成

4. 移住支援による人口増加

移住希望者のニーズ

希望する地域累計 ※複数回答



出典:ふるさと回帰支援センターの現状について(2018年6月)を参考に筆者が作成

4. 移住支援による人口増加

移住希望者のニーズ

①就労の場

- センター利用者の多くは、「**就労の場**」を希望している。(2018)
- 地域の就業先と移住希望者とのマッチングをすることが重要である。
(ハローワークなど)

②利便性の良い生活

- センター利用者の多くは、「**地方都市**」を希望している。(2018)
- 地方暮らしだからといっても、不便な田舎暮らしは望んでいない。
- 交通機関が充実していること、買い物環境がいいこと、などが重要である。

4. 移住支援による人口増加

就労の場について

①地方起業

ゆかりのない地域での起業はハードルが高く、**人間関係の構築**が難しい。

地域に起業する人を受け入れる**仕組み創り**が重要である。

①地方就労

- ❑ **就職**・・・一般的な企業就労。
- ❑ **継業**・・・地域の事業を**移住者(第三者)**が継承すること。

地域側が仲介役になるなど**サポート**が重要である。

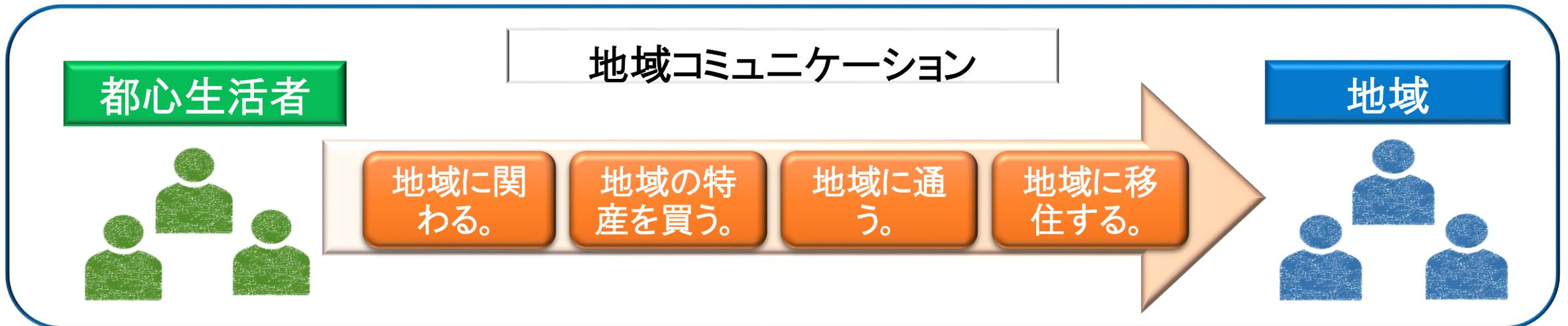
5. 幸せな地域社会をつくるためには

5. 幸せな地域社会をつくるためには

結論

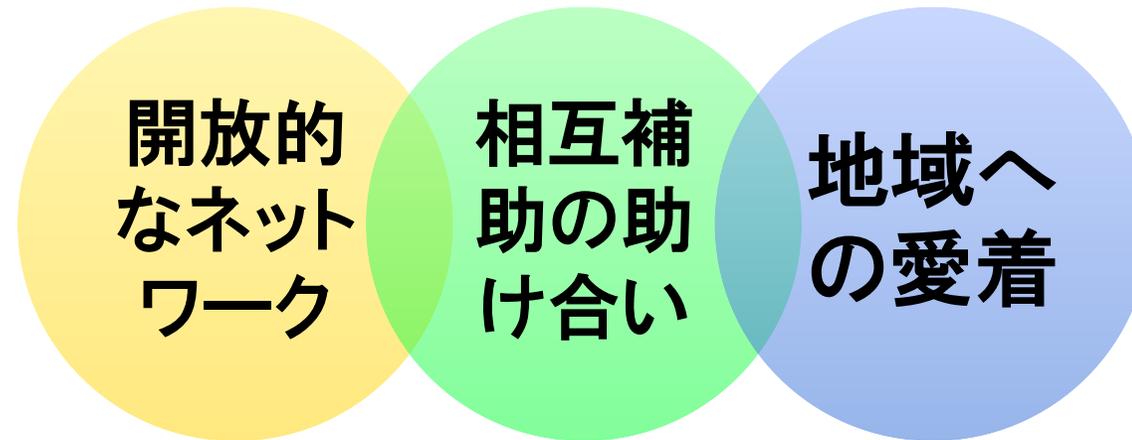
～幸せな地域社会とは～

『多様な関わり方で地域を元気にできる社会』
(移住にこだわらなくてもいいのでは?)



5. 幸せな地域社会をつくるためには

重要なソーシャルキャピタル



開放的なネットワーク

日常的な信頼関係が災害時などに効果的。

相互補助の助け合い

経済的合理性を超えた人々の協力関係。

地域への愛着

自分たちが地域を創っているという意識。

5. 幸せな地域社会をつくるためには

関係人口を増やす方策

関係作りのサポート

安定した就労の場

利便性のいい生活

人々の集いの場

関係作りのサポート

地域と関わるイベントや企画を増やす

安定した就労の場

安定した収入を得られる雇用を増やす

利便性のいい生活

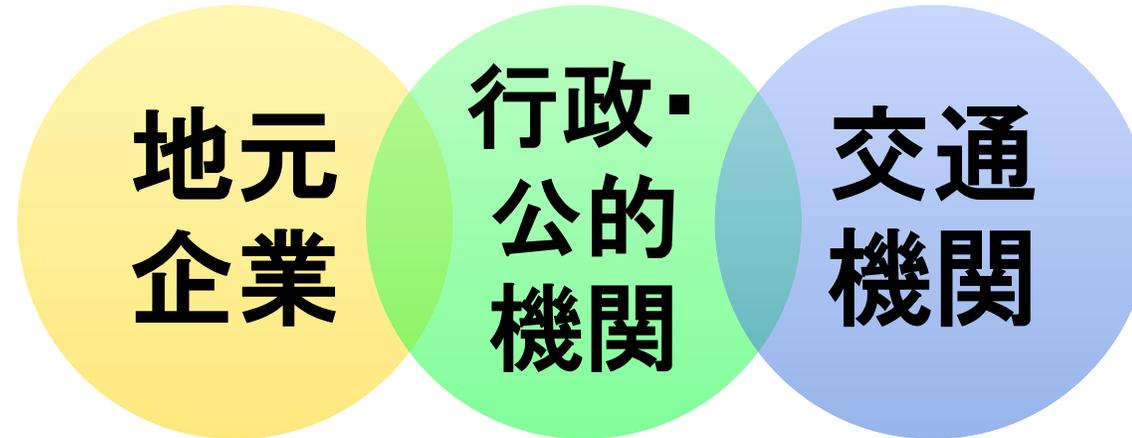
交通機関や道路のアクセスを良くする

人々の集いの場

地域に関わる人々同士の交流の場を増やす

⑤ 幸せな地域社会をつくるためには

地域作りのための役割



地元企業

国のマニュアルに沿った運営ではなく、自分たちでルールをつくる。

行政・公的機関

住民が自ら自発的に動ける機会を創出する。

交通機関

リニア開業のより東京圏が広がり、条件不利地域の利便性が高まる。

もくじ

6. 参考・引用文献

6. 参考・引用文献

No.	著者	出版年	タイトル	出版社	収録雑誌・学会誌
1	ほくとう総研	2007	北海道新幹線の開通に向けて ～新幹線が地域振興に与える影響～	ほくとう総研	NETT
2	みずほ総合研究所	2018	キーワードで読み解く地方創生	岩波書店	
3	稲葉陽二	2011	ソーシャルキャピタル入門	中央新書	
4	稲葉陽二・吉野涼三	2018	ソーシャルキャピタルの世界 学術的有効性・政策的含意と統計・解析手法の検証	ミネルヴァ文庫	
5	加茂 浩靖	2018	地方移住希望者に対する職業支援の地域的特性		日本福祉大学経済論集
6	株式会社日本政策投資銀行 北陸支店/地域企画部	2016	北陸新幹線金沢開業による観光活性化が 石川県内に及ぼす経済波及効果	株式会社日本政策投資銀行 北陸支店/地域企画部	2016年度 日本政策投資銀行 北陸支店レポート
7	吉野 元	2017	持続可能な島づくりに向けたMITのビジネスモデル		
8	轡田竜蔵	2017		勁草書房	
9	五十石俊祐・石井儀光	2017	一次通勤圏において高齢単身・夫婦世帯にとってアフォーダ ブルな住み替え先の供給が進む可能性		公益社団法人日本都市計画学会 都 市計画論文集
10	鯉江康正	2014	北陸新幹線(長野～金沢間)開業に伴う 北信越地域への影響分析	長岡大学地域連携研究センター年 報	長岡大学地域連携研究センター年報
11	鯉江康正	2011	新幹線整備が地域経済に与えた影響事例	長岡大学地域研究センター年報	長岡大学地域研究センター年報
12	高見 具広	2016	若者の地域定着・還流のための「働く場」の問題		
14	高見具広	2016	地方雇用の現状と課題：若者の定着・UIターン促進のために		Business labor trend / 労働政策研 究・研修機構 編
15	高見具広	2016	若者の地域定着：還流のための「働く場」の問題：地方圏に おける課題と取り組み		Business labor trend / 労働政策研 究・研修機構 編

6. 参考・引用文献

No.	著者	出版年	タイトル	出版社	収録雑誌・学会誌
15	根本祐二	2013	「豊かな地域」はどこがちがうのかー地域間競争の時代	ちくま新書	
16	斎藤雅茂	2018	高齢者の社会的孤独と地域福祉		
17	菅野仁	2008	友だち幻想人と人の〈つながり〉を考える	中公新書	
18	石井まこと、宮本みち子、阿部誠 編		地方に生きる若者たち インタビューからみえてくる仕事・結婚・暮らしの未来	旬報社	
19	前田 卓哉	2007	新幹線ネットワークを地域に活かす ~新幹線駅をコミュニティの核に(さくらんぼ東根駅・出水駅)~	ほくとう総研	NETT
20	増田寛也	2014	地方消滅 東京一極集中が招く人口減少	中央公論新社	
21	増田寛也 富山和彦	2015	地方消滅 創生戦略篇		
22	村椿 晃	2007	北陸新幹線の開業に向けた富山県の取組みについて	ほくとう総研	NETT
23	池田弘	2017	地方イノベーション	日経BP社	
24	中村時広・加藤庸之・清水一郎・藤岡秀多	2016	インバウンドを地方創生の切り札にしていくためには	時評社	月刊 時評
25	朝倉 美衣	2011	観光政策による地域の活性化		
26	堤研二	2015	人口減少・少子化と生活環境 山間地域とそいーしゃるキャピタルの事例に学ぶ	九州大学出版会	
27	田中輝美	2017	関係人口をつくる 定住でも交流でもないローカルイノベーション	木楽舎	
28	南 学	2018	現代の若者の価値観と友人関係	三重大学教育学部	三重大学教育学部研究紀要

おわり

ご清聴ありがとうございました！

指導教員：後藤晶 野坂美穂 木村知義

大学院生：高村直 葛生善江

学部生：村松繁 竹之内剛 中島大地 柳沢祐介